

学科課程カリキュラム 及び 授業計画

【教職課程科目】

[履修にあつたての遵守事項]

我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1 単位あたり 45 時間の学修を要する内容をもって構成することが標準とされている。ここでいう1 単位あたりの学修時間は、授業時間内の学修時間だけでなく、その授業の事前の準備学修・事後の準備復習を合わせたものになっている。この主旨を踏まえ、各教科の履修に当たっては、授業計画を参考に予習・復習に努め、1 単位当たりの学修時間を確保することに努めること。

2017 年度
(平成 29 年度)
第一工業大学

(14) 教職課程科目

① 教職に関する科目

① 教職に関する科目																						
凡例		☆：教職必修 無印：教職選択（但し、教科科目は適用外） ②：集中講義 中技：中学校技術 中数：中学校数学 高工：高校工業 高数：高校数学 高情：高校情報																				
科目 区分	科目 番号	授業科目	科目 単位	週授業時間数								区分最低 修得単位		免許別必修 ・選択区分						備 考		
				1 年		2 年		3 年		4 年		中 学	高 校	中 技	中 数	高 工	高 数	高 情				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
第二欄	6511	教師論	2	2								2	2	☆	☆		☆	☆				
第三欄	6512	教育原理	2			2						6	6	☆	☆		☆	☆	教育の理念並びに歴史及び思想を含む。			
	6513	教育経営論	2			2								☆	☆		☆	☆	社会制度的又は経営学的事項を含む。			
	6514	教育心理学	2			2								☆	☆		☆	☆	心身の発達及び学習の過程を含む。			
第四欄	6515	教育課程論	2			2						12	6	☆	☆		☆	☆				
	6516	数学科教育法Ⅰ	2					2							☆		☆					
	6517	数学科教育法Ⅱ	2					2							☆		☆					
	6518	数学科教育法Ⅲ	(2)							2												
	6551	数学科教育法Ⅳ	(2)							2												
	6519	技術科教育法Ⅰ	2					2						☆								
	6520	技術科教育法Ⅱ	2					2						☆								
	6521	技術科教育法Ⅲ	2							2												
	6552	技術科教育法Ⅳ	2							2												
	6522	工業科教育法Ⅰ	2					2														
	6523	工業科教育法Ⅱ	2					2														
	6541	情報科教育法Ⅰ	2					2											☆			
	6542	情報科教育法Ⅱ	2					2											☆			
	6524	道德教育	2					2						☆	☆					中免のみ必修		
	6525	特別活動論	2					2						☆	☆							
	6526	教育の方法と技術	2					②						☆	☆							
	6527	生徒指導論	2					2						4	4	☆	☆		☆	☆	進路指導の理論及び方法を含む。	
	6528	教育相談	2					2								☆	☆		☆	☆		
第五欄	6544	事前・事後指導	1							1		5	3	☆	☆		☆	☆				
	6545	教育実習Ⅰ	2							②				☆	☆		☆	☆				
	6546	教育実習Ⅱ	2							②				☆	☆				中免のみ必修			
第六欄	6547	教職実践演習（中・高）	2							2		2	2	☆	☆		☆	☆				
		計	47									31	23									

② 教科又は教職に関する科目

科目番号		授業科目	科目単位	週授業時間数								区分最低		免許別必修・選択区分						備 考	
				1 年		2 年		3 年		4 年		修得単位									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	中 学	高 校	中 技	中 数	高 工	高 数	高 情			
6711	介護福祉概説	2			2					2	0	☆	☆					介護等体験のために必修			
6721	総合演習Ⅰ	2					2			※1	※1	☆	☆	★	☆	☆					
6722	総合演習Ⅱ	2						2				☆	☆	★	☆	☆					
計		6								8	16										

※1 本教職課程科目のほかに、各学科の指定された専門科目の中から選択し修得する。（参照：「教職課程履修要領」）

※2 高校工業の「教職に関する科目」は、「教科に関する科目」で振り替えることができる。（参照：同上）

教職に関する科目

教科番号	6511	授業科目：教師論（ Ethics for Teachers ）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（１）年（２）単位 担当者： 岩橋 法雄		
【授業の到達目標】				
「教育は人なり」と言われるように、人を育てる教師の存在は、何時の時代にあっても教育を受ける者にとっては重要な存在である。そこで、教員を志す学生が、教員の職責の大きさを認識し、資質の向上を図り、使命感などを確立して教育的情熱を持って教員となるよう、講義全体を通じて指導する。				
【授業の概要】				
教職の意義や役割、教師の歴史や教師像、教員の職務内容、進路指導について学び、教員としての資質能力を高めるとともに、教職に対する愛着や誇り、教員の使命感や責任感、倫理観などについて理解し、考察する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教職の意義と役割	人間形成における教育の必要性、教職の意義や役割	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。	30 60
2	教師の歴史と教師像	近代国民教育制度(公教育)の中での教職の成立	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。	60 60
3	教員の資質能力	教師の専門性と、教職の専門性	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業プリントを復習。	30 60
4	教員養成制度の歴史と変遷(1)	戦前日本と戦後日本の教員養成	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。小テストの準備。	30 60
5	教員養成制度の歴史と変遷(2)	「でもしか」教師の克服と、専門性の向上	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の復習をする。	60 60
6	1回～5回までのまとめ	自分の目指す教師像を発表し合い、ディスカッションする	ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	120 60
7	教育公務員としての教員の服務	「使命」の意味。身分上の義務と職務上の義務	配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。	60 60
8	指導が不適切な教員の人事管理	懲戒処分と分限処分。研修制度。免許更新制度など	配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
9	生徒に対する教師の行為(1)	懲戒の範囲と体罰。不登校対策。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
10	生徒に対する教師の行為(2)	いじめ問題への対応 児童虐待への対応	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
11	6回～10回までのまとめ	教員採用試験問題から関連問題を抽出し、解答・解説。ディスカッション。	授業の内容を復習する。 演習問題の取り組みと提出	60 120
12	学級経営(1)	学級経営の計画、生徒の実態把握、保護者との連携	配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ。	60 60
13	学級経営(2)	小1プロブレムなど問題を抱えた子どもの発見・対応。ディスカッション。	授業のまとめ。ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	60 120
14	発達障害を理解する	発達障害の基本を理解する。学級での包摂と自立を考える	配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。	60 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 60
【テキスト】 新教師論 久田俊彦他編著 ミネルヴァ書房				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。 汐見稔幸他編著『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房				
【成績評価基準・方法】 レポート（15%）、小テスト（15%）、試験（70%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6512	授業科目：教育原理（ Education Principal ）		
開講時期	前期	（ 全 ）学科（１）年（２）単位 担当者： 岩橋 法雄		
【授業の到達目標】 学校における教育活動は、ひとりひとりの人間の成長・発達のもとより、国家・社会の発展に関わるものでありその教育の成否は教員の資質能力に大きく左右される。そこで、教員を志す学生が、教育の本質と目的などを理論的に学ぶことにより、健全な教育的識見や教育信念などの教員としての資質能力を身につけて教員となるよう、講義全体を通じて教育指導を行う。				
【授業の概要】 教育の本質や目的、教授理論などを歴史的・実証的に学習する。その際、社会的教育現象は決して歴史社会から切り離されたものでないので、西洋教育史や日本教育史の時系列における学習と、今日社会の教育課程や学習指導要領などの学校教育の実際を学習する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教育の本質を考える	education と indoctrination との違いを理解する	配布プリント（該当箇所を指示する）を読む。授業を復習。	30 60
2	人間(人類)の発達と言語の役割	時間と空間を超えての情報・技術の伝達。言葉の構造	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。	60 60
3	類としての人間の本源的能力	赤ちゃん学から学ぶ。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業プリントを復習。	30 60
4	発達環境としての人間的社会	「狼に育てられた少女」の話の真偽と、学ぶべき教訓	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。小テストの準備。	30 60
5	西洋教育思想の展開と社会背景	ソクラテスの教育思想と方法。西洋中世の共同体と人間	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の復習をする。	60 60
6	人間と文化の覚醒(1)	イタリアルネサンスと人間的自然の思想、欲求的人間の覚醒	ルネサンスの美術などを調べて、何が「欲求的」かを考えて発表。	120 60
7	人間と文化の覚醒(2)	北方ルネサンスと人間の経験的知の重視	配布プリントを読みまとめる。とりわけ「神の支配」を考える	60 60
8	近代教育原理としての2本の柱	1～7回までの総復習として「2本の柱」をディスカッション	ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	30 120
9	ルソーとペスタロッチの教授法	「自然人」の教育。開発教授法	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
10	産業革命と教育教授法の改革	ヘルバルト教授法。世界新教育運動など。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
11	戦後日本の教育改革	学習指導要領の意味と変遷	授業の内容を復習する。演習問題の取り組みと提出	60 120
12	今日日本の教育問題	学力問題。「ゆとり世代」の諸問題。	配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ。	60 60
13	特別支援教育の諸問題	小1 プロブレムなど問題を抱えた子どもの発見・対応。ディスカッション。	授業のまとめ。ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	60 120
14	発達障害を理解する	発達障害の基本を理解する。学級での包摂と自立を考える	配布プリントを読みまとめる。授業の内容を復習する。	60 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。ノートの整理とまとめ。	60 60
【テキスト】 随時、関連資料を配付				
【参考書・参考資料等】 汐見稔幸他編著『よくわかる教育原理』、ミネルヴァ書房 安彦忠彦『よくわかる教育学原論』、ミネルヴァ書房				
【成績評価基準・方法】 レポート（15%）、試験（70%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6513	授業科目：教育経営論（ Business Administration ）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位 担当者： 岩橋 法雄		
【授業の到達目標】 教育の成果や教員の資質能力を高めるため、教員が、日本国憲法や教育基本法等の諸法規に基づいて教育が推進されていることを理解し、認識する必要がある。 そこで教員を志す学生が、近代学校制度や学校教育に関わる諸法規等を理解し、教育の基礎理論を身につけて教員となるよう、講座全体を通じて教育指導を行う。				
【授業の概要】 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を学習して教育制度や学校経営等を理解するとともに、教育基本法や学校教育法等の諸法規についても学習を深め、教育を法的に考察させるようにする。また、日本及び諸外国の教育改革の現状を概観する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	学校の歴史的な性格	学校の概念、私教育から公教育へ	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。	30 60
2	学校制度の構造	近代国民教育制度(公教育)の成立と分岐システム	テキスト(該当箇所を指示する)を読む。授業プリントを復習。	60 60
3	日本の学校制度、戦前と戦後。	国民教育の理解を深める 制度図の違いを読み取る	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 復習と小テストの準備。	30 60
4	教育行政の成り立ちとあり方	英米型と大陸型の行政観の違いと意味を理解する。	プリントの行政関連英語句・用法を自分で調べて訳してみる。提出。	30 60
5	教育基本法と教育行政の基本	特に教育内容行政の原理を理解する。 小テストの実施。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の復習をする。	60 60
6	教育委員会制度の成立と変容	教育委員会の組織と構成、を理解する	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	教員採用試験問題から関連問題を抽出し、解答・解説。 ディスカッション。	それらディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。	120 60
8	教育委員会の改革と権限	教育振興基本計画の意味と教育委員会の果たす役割	配布プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	学校経営(1)	校長の権限と職員会議、学校評議員制度、評価制度。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	学校経営(2)	学校経営の基本、校務分掌 教職員の種類と職務	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	学級経営(1)	学級経営の計画、生徒の実態把握、保護者との連携	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	学級経営(2)	小1プロブレムなど問題を抱えた子どもの発見・対応。ディスカッション。	配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ。	120 60
13	現代日本の学校教育	学力向上の問題と、選択制度の拡大	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	諸外国の教育改革	世界の改革動向で何が問題となっているかを理解する。	テキスト(該当箇所)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】 新訂第2版図解・表解 教育法規 坂田仰他編 教育開発研究所				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。 汐見稔幸他編著『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6514	授業科目： 教育心理学（ Education Psychology）		
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位 担当者： 角野 雅彦		
【授業の到達目標】				
教育心理学は教育に関わる諸問題について心理学的な側面から研究し、それによって教育の効果を高めようとするものである。そのために、発達・学習のメカニズムや障がいのある生徒の理解と対応、教育評価の機能、教育的支援のあり方などについて学ぶ。				
【授業の概要】				
発達・適応・学習などの教育心理学に関する基礎的理論の理解を深めるとともに、教室での授業や教育評価など実際の活用法等についても分かりやすく解説する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教育心理学とは	教育心理学の目的と役割	テキスト(P1~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	学習のメカニズム	心理学における学習とは何か	テキスト(P15~29)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	動機づけ理論の基礎	やる気について心理学的に考える	テキスト(P31~41)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	動機づけ理論の応用	やる気を引き出す学習計画と評価	テキスト(P43~55)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	学習の基礎的理解	学習の基礎としての記憶、記憶のメカニズム	テキスト(P57~70)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	学習の動機づけ	外発的動機づけと内発的動機づけ	配布プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	レポートを発表し、グループ討論を行う。	レポート作成により理解を深める。 グループ討論の内容をまとめる。	120 60
8	記憶理論の活用	効果的な記憶のしかた	テキスト(P71~84)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	学習方略について	学習方略の考え方とタイプ	テキスト(P85~100)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	学習の振り返りを促すために	メタ認知と学習観	テキスト(P101~115)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	発達の理解	教育心理学における発達理論	テキスト(P117~131)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	社会性と道徳性の発達	学校集団の人間関係と発生しがちな問題	テキスト(P151~168)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	青年期の発達	アイデンティティの確立とキャリア形成	テキスト(P183~200)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	8回～13回までのまとめ	レポートを発表し、グループ討論を行う。	レポート作成により理解を深める。 グループ討論の内容をまとめる。	120 60
15	まとめ	まとめと総括	テキストを再度熟読しておく。 ノートの整理とまとめ。	90 90
【テキスト】『絶対役立つ教育心理学―実践の理論、理論を实践』 藤田哲也編著 ミネルヴァ書房 2,800 円（税別） ISBN 978-4-623-04886-1				
【参考書・参考資料等】 必要に応じて授業時に提示する。				
【成績評価基準・方法】 受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6515	授業科目：教育課程論（Educational Curriculum Theory）		
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位 担当者：萩原 和孝		
【授業の到達目標及びテーマ】				
テーマ：教育課程の編成原理を認識し、教育課程編成へ見通しを得る。				
到達目標：①教育課程の変遷と現在日本で取り組まれている教育課程の実際を把握する。				
②教育課程を編成するための方法原理や教育評価のあり方を認識し、そのための基礎的な能力を獲得する。				
③現代社会の課題や社会的要請に対応する教育課程の試みを知り、これからの教育活動をつくりだしていく見通しを得る。				
【授業の概要】				
前半は日本における教育課程の歴史的変遷を通じて、各時代の教育課程の理論や背景等を解説する。中盤は現在の学校教育における教育課程編成の実際を、教育課程の基準である学習指導要領等を中心に解説する。後半は、地域とのつながりや社会的要請への対応が求められている状況での教育課程編成や評価のありかた等について解説し、年間指導計画作成という演習的活動も取り入れる。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教育課程とは	教育課程の意義、類型、構造（経験主義・系統主義等）	テキスト(p.1～26)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
2	日本における教育課程の歴史的展開	明治期の教育課程（学制、教育令など）	テキスト(p.27～30)、『学制百二十年史』（第一編第一章の概説）を読む。 授業の復習をする。	60 30
3	日本における教育課程の歴史的展開	大正期から昭和初期の教育課程（大正自由教育、郷土教育、国民学校）	テキスト(p.30～31、36)、『学制百二十年史』（第一編第二章の概説）を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
4	日本における教育課程の歴史的展開	学習指導要領の変遷（戦後「新教育」～教育課程の現代化）	テキスト(p.32～35)、学制百二十年史』（第二編第一章の概説、第二編第二章の概説）を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
5	日本における教育課程の歴史的展開	学習指導要領の変遷（人間中心カリキュラム～「生きる力」「ゆとり」）	テキスト(p.32～35)、学制百二十年史』（第三編第一章第一節）を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
6	日本における教育課程の歴史的展開	近年の学習指導要領改訂の経過と特徴（「確かな学力」～平成29年3月改訂、アクティブ・ラーニングなど）	テキスト(p.179～194)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
7	教育課程編成と学校組織	教育課程編成の主体 学校組織（校務分掌）など	テキスト(p.37～50)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
8	学校種ごとの教育課程編成の特徴	小学校・中学校の学習指導要領および教育課程	テキスト(p.51～86)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
9	学校種ごとの教育課程編成の特徴	高等学校・特別支援学校の学習指導要領および教育課程	テキスト(p.87～114)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30

10	教育課程における道徳教育や教科外活動の位置づけ	道徳教育をめぐる政策動向、特別活動・総合的な学習の時間の理念と実践例	テキスト(p.130~147)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
11	社会に開かれた教育課程	コミュニティスクール（学校運営協議会）、学校評議員、学校支援地域本部	文部科学省 HP に掲載されている「コミュニティ・スクールパンフレット」を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
12	特色ある教育課程	国内の特色ある教育課程や、諸外国の教育課程の理論や実践	テキスト(p.65、165~178)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
13	教育課程の評価	評価の意義・役割、学校評価ガイドライン、指導要録	テキスト(p.148~164)を読む。 授業の内容を復習する。	60 30
14	教育課程の計画・実施・評価・改善	総合的な学習の時間などの年間指導計画を作成し、発表する。	総合的な学習の時間などの年間指導計画を事前に入手し、それらに参考に、新規の指導計画または改善した計画を作成する。 他の受講生の発表や指摘を受けて、さらに計画を改善する。	120 60
15	まとめ 教育課程編成の今後について	学校教育を取り巻く社会的状況（情報化、子どもの貧困など）。「コンテンツ」から「コンピテンシー」へ。	授業内容全体の総括とまとめ 評価試験の準備	60 120

【テキスト】古川治ほか『教職をめざす人のための教育課程論』北大路書房、2015 年

【参考書・参考資料等】

- ・『学制百年史』『学制百二十年史』（いずれも文部科学省ホームページに掲載）。
- ・「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成 28 年 12 月、中央教育審議会
- ・その他、随時配布または指示する

【成績評価基準・方法】

第 14 回の発表(40%)、授業後の感想・疑問点などの提出（10%）、評価試験(50%)を総合的に評価する。

教科番号	6516	授業科目：数学科教育法Ⅰ (Education Mathematics MethodologyⅠ)		
開講時期	前期	(全) 学科	(3) 年	(2) 単位 担当者：植村 哲郎
【授業の到達目標】 この講義では、中学校・高等学校の数学科教育について次のことを目標とする。 1. 目標及び内容の理解 2. カリキュラムの作成法の修得 3. 教科指導法の修得				
【授業の概要】 中学校・高等学校で数学を指導するために必要としている数学の基礎を学ぶとともに、数学の教育目標、内容、指導法について、理解させる。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	指導目標の研究	指導目標の具体化	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	指導目標の変換 ①	指導内容と目標	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	指導目標の変換 ②	数学教育の現代化	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
4	教材の研究 ①	数・式 取り扱いを工夫したい教材	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
5	教材の研究 ②	関数 取り扱いを工夫したい教材	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	教材の研究 ③	図形に関する導入例・指導例	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
7	教材の研究 ④	代数に関する導入例・指導例	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
8	教材の研究 ⑤	幾何に関する導入例・指導例	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
9	教材の研究 ⑥	解析に関する導入例・指導例	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
10	教材教具の生かし方	教材・教具とは 黒板・掛け図等 O HP・TV等教育工学用具等	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	教材の使用例	教科書・補助教材等	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	具体的な指導技術	板書・話し方・要点のまとめ方・生徒 の質問・ノートの取らせ方等	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	指導方法	教師の受動的な働き・教室内における 教師の動き	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
14	評価	評価の意義・指導と評価・絶対評価と 相対評価の話合い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	評価・講評	評価の方法、書かせて評価、話させて 評価等・講評の話合い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 120
【テキスト】 数学科教育法 牧野書店				
【参考書・参考資料等】 配布資料				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度 (30%)、レポート (30%)、試験 (40%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	6517	授業科目： 数学科教育法Ⅱ (Education Mathematics Methodology Ⅱ)		
開講時期	後期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 植村 哲郎		
【授業の到達目標】				
この講義では、中学校・高等学校の数学科教育について次のことを目標とする。				
1. 目標及び内容の理解				
2. カリキュラムの作成法の修得				
3. 教科指導法の修得				
【授業の概要】				
教育目標、内容、指導法を理解した上で教育方法、技術を修得し、具体的な指導法を身につける。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	数学教育の現代化	現代の数学教育の発展	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	考える力を育てる	数学教育において考える力を育てる授業づくり	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	発展的な学習と補充	発展的な学習と補足的な学習として、どのような学習を行うのか	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
4	評価 (1)	評価の意義とその目的	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
5	評価 (2)	評価の方法、書かせる評価、話させて評価する方法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	学習指導要領 (1)	中学校学習指導要領「数学」	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
7	学習指導要領 (2)	高等学校学習指導要領「数学」	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
8	戦後の指導法の変換	戦後の数学の指導法の移り変わりについての話し合い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
9	教授・学習理論 (1)	16 世紀以降の教育者、思想家から学習を考える	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	教授・学習理論 (2)	デューイ、ピアジェ等の学習理論から学習を考える	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	教授・学習理論 (3)	近年の学習理論	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	教育メディアの活用(1)	インターネットを利用した教材作成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	教育メディアの活用(2)	マルチメディアを利用した教材の事例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
14	模擬授業 (1)	各自の指導案にそって模擬授業を実施	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	模擬授業 (2)	各自の指導案にそって模擬授業を実施	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	60 120
【テキスト】 数学科教育法 牧野書店				
【参考書・参考資料等】 配布資料				
【成績評価基準・方法】 模擬授業 (40%)、レポート (30%)、プレゼンテーション (30%) で総合的に評価する。				

教科番号	6518	授業科目：数学科教育法Ⅲ（Education Mathematics MethodologyⅢ）		
開講時期	前期	（全）学科 （4）年 （2）単位 担当者： 植村 哲郎		
【授業の到達目標及びテーマ】				
この講義では、中学校・高等学校の数学科教育について次のことを目標とする。				
1. 目標及び内容の理解				
2. カリキュラムの作成法の修得				
3. 教科指導法の修得				
【授業の概要】				
教育目標、内容、指導法を理解した上で学習指導案を作成し、模擬授業の実践を通して具体的な指導法を身につける。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	正負の数	正の数と負の数の導入例、文字の導入例	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	方程式	一元一次方程式、連立二次方程式の解き方と指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	乗法・因数分解	式の展開と因数分解、2次方程式の導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
4	図形の模擬授業	平面図形と作図に関する導入例、指導例	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
5	平行線と角	平行線と角・三角形の内角の和に関する導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	図形と証明	証明の進め方・合同の利用・平行四辺形の証明の導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
7	円周の定理	円周角の定理・円に内接する四角形に関する導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
8	確率の模擬授業	確率（実験・問題）確率の求め方や導入例・指導例	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
9	三平方の定理	図形の使い方・導入と展開の指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	2次関数	関数・点・グラフに関する導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	相似図形	平行線と線分・比・面積比に関する導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	三角比の模擬授業	三角形の相互関係・公式に関する導入例・指導例	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	個数の処理	集合・順列・組み合わせに関する導入例・指導例	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
14	ベクトルの模擬授業	平行・垂直・内積・位置ベクトルに関する導入例・指導例	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	複素数の模擬授業	解と係数の関係、剰余・因数定理、複素平面の導入例・指導例	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	60 120
【テキスト】 数学科教育法 牧野書店				
【参考書・参考資料等】 配布資料				
【成績評価基準・方法】 模擬授業（40％）、レポート（30％）、プレゼンテーション（30％）で総合的に評価する。				

教科番号	6551	授業科目：数学科教育法Ⅳ（Education Mathematics Methodology Ⅳ）		
開講時期	後期	(全) 学科 （4）年 （2）単位 担当者： 植村 哲郎		
【授業の到達目標及びテーマ】				
この講義では、中学校・高等学校の数学科教育について次のことを目標とする。				
1. 目標及び内容の理解				
2. カリキュラムの作成法の修得				
3. 教科指導法の修得				
【授業の概要】				
中学校や高等学校の数学における、教育課程の意義及び編成の方法を学ぶ。中学校や高等学校での数学の指導方法及び技術も習得しながら、授業内容全体を見て、授業案・授業詳細を構築する能力を養う。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	講義と学生による 討論・発表 1	中学校の学習指導要領、教育課程 の意義、教科の目標	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
2	講義と学生による討論・発表 2	中学校の学習指導要領 教育課程の意義 内容・その取扱い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
3	講義と学生による 討論・発表 3	中学校の学習指導要領 教育課程の編成の方法	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
4	講義と学生による討論・発表 4	高等学校の学習指導要領 教育課程の 意義 教科の目標	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
5	講義と学生による討論・発表 5	高等学校の学習指導要領 教育課程の 意義 内容・その取扱い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
6	講義と学生による討論・発表 6	高等学校の学習指導要領 教育課程の 編成の方法	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
7	講義と学生による討論・発表 7	中学校指導案・指導細案作成について	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
8	講義と学生による討論・発表 8	高等学校指導案・指導細案作成について	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
9	グループ学習 1	中学校の指導案作成	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
10	グループ学習 2	高等学校の指導案作成	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
11	自由討論	日本における数学教育の現状	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
12	授業を創る、模擬授業 1	具体的な教材を通して代数の指導について考える	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
13	授業を創る、模擬授業 2	具体的な教材を通して関数の指導について考える	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
14	授業を創る、模擬授業 3	具体的な教材を通して幾何の指導について考える	模擬授業の準備をする。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
15	まとめと総括	レポート提出とまとめ	レポート作成をする。 ノートのまとめをする。	6 0 1 2 0
【テキスト】 数学科教育法 牧野書店				
【参考書・参考資料等】 配布資料				
【成績評価基準・方法】 模擬授業（40％）、レポート（30％）、プレゼンテーション（30％）で総合的に評価する。				

教科番	6 5 1 9	授業科目：技術科教育法 I		
開講時期	前期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者：中藺 政彦		
【授業の到達目標】 中学校「技術・家庭科」において技術分野の指導に必要な基礎的・基本的な知識や技能について理解し、将来の中学校教員としての資質・能力を身に付ける。				
【授業の概要】 科学と技術の関係から技術教育の必要性を理解させ、技術の歴史と発展、教育改革と技術・家庭科教育の変遷から、新しい中学校学習指導要領の「技術・家庭科」の内容がどのように変わってきたかを解説し、理解を図る。				
【授業要旨】				
回	題目	授業内容	学習課題（予習復習）	時間
1	科学と技術	科学と技術の関係及び科学技術の発達と人間生活	科学と技術の関係を整理する。	60
2	学校教育と技術教師の役割	学校における技術担当教師の活躍の場	技術教師の役割をレポートする。	60
3	学校教育制度の変遷と技術教育	諸外国の技術教育の変遷とその背景	諸外国の技術教育の変遷をまとめる。	60
4	技術の歩みと技術教育	諸外国の技術教育の歩み（戦前・戦後）	復習 戦前戦後の技術の歩みをまとめるレポート	120
5	我が国における技術科教育の変遷 1	徒弟制手工業の時代から戦前まで	戦前の技術科教育の変遷をまとめる	120
6	我が国における技術科教育の変遷 2	戦後の技術科教育の変遷	戦後の技術科教育の変遷をまとめる	150
7	新学習指導要領の改訂内容	新学習指導要領の改訂の背景とねらい	新学習指導要領の改訂の背景とねらいをまとめる。	90
8	技術・家庭の目標・内容 1	技術・家庭科の目標の変更点について	目標の変更点についてまとめる。	60
9	技術・家庭の目標・内容 2	技術分野の目標の変更点と内容の扱いについて	予習 学習指導要領を基に目標を抜き出す。	120
10	学習指導計画の作成 1	指導計画作成上の留意点	指導計画作成上の留意点を復習	60
11	学習指導計画の作成 2	3 学年間を見通した学習指導計画の作成（演習）	学習指導計画の作成演習準備	180
12	技術科の運営 1	技術科の運営（生徒管理）	技術科の運営のまとめ	60
13	技術科の運営 2	技術準備室、教室の管理	準備室、教室の管理まとめ	60
14	技術教育と他教科とのかわり	他教科（特に理科・数学）の内容等の把握の必要性	復習 テキストを基に図工、社会、総合の関係をレポート	180
15	まとめ	学習のまとめと総括 技術科教育の重要性についてディスカッション	期末試験のために総復習とディスカッションの下調べ	120
【テキスト】 中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－（平成20年9月） 科学省 教育図書				
【参考書・参考資料等】 ・ 自作資料提供 ・ 中学校「技術・家庭科」教科書				
【成績評価基準・方法】 試験（60％）、レポート・受講態度（40％）等により総合的に判断し評価する				

教科番号	6 5 2 0	授業科目：技術科教育法Ⅱ		
開講時期	後期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者：中藺 政彦		
【授業の到達目標】 中学校「技術・家庭科」において技術分野の指導に必要な基礎的・基本的な知識や技能について理解し、将来の中学校教員としての資質・能力を身に付ける。				
【授業の概要】 中学校「技術・家庭科」において技術分野の目標達成のための指導に必要な基礎的知識・技術と指導法を解説する。学習指導の中心となる学習指導要領の指導内容と学習指導について解説するとともに教育機器の種類と特徴と効果的な活用法について指導する。				
【授業要旨】				
回	題目	授業内容	学習課題（予習復習）	時間
1	教育基本法・学校教育法と技術科教育	技術科教育の位置づけのバックボーンである教育基本法・学校教育法の解説	教育基本法・学校教育法と技術科教育の関係をまとめる。	60
2	技術科教育の意義と役割	技術・家庭科教育の存在意義と技術担当教師の役割	技術・家庭科教育の存在意義をまとめる。	60
3	「A材料と加工に関する技術」の指導法の研究1	「A材料と加工に関する技術」の学習内容と留意点	「A」の学習内容と留意点を復習し演習に備える。	120
4	「A材料と加工に関する技術」の指導法の研究2	「A材料と加工に関する技術」の展開（演習）	「A」の展開（演習）後の改善を行う。	120
5	「Bエネルギー変換に関する技術」の指導法の研究1	「Bエネルギー変換に関する技術」の学習内容と留意点	「B」の学習内容と留意点を復習し演習に備える。	120
6	「Bエネルギー変換に関する技術」の指導法の研究2	「Bエネルギー変換に関する技術」の展開（演習）	「A」の展開（演習）後の改善を行う。	120
7	「C生物育成に関する技術」の指導法の研究1	「C生物育成に関する技術」の学習内容と留意点	「C」の学習内容と留意点を復習し演習に備える。	120
8	「C生物育成に関する技術」の指導法の研究2	「C生物育成に関する技術」の展開（演習）	「C」の展開（演習）後の改善を行う。	120
9	「D情報に関する技術」の指導法の研究1	「D情報に関する技術」の学習内容と留意点	「D」の学習内容と留意点を復習し演習に備える。	120
10	「D情報に関する技術」の指導法の研究2	「D情報に関する技術」の展開（演習）	「D」の展開（演習）後の改善を行う。	120
11	教育機器の種類と特徴	OHP, VTR, PC, プロジェクター, カメラ e t c	教育機器の種類と特徴をまとめる。	60
12	教育機器の効果的な活用	技術・家庭科における教育機器の効果的な活用	教育機器の効果的な活用をまとめる。	60
13	技術科と指導方法改善1	教材・教具の必要性和活用	教材・教具の必要性和活用法をまとめる。	60
14	技術科と指導方法改善2	技術科の授業と指導方法改善 自作教具の作成	自作教具の工夫と作成	180
15	まとめ	学習のまとめと総括 技術科教育の課題とその対策についてディスカッション	ディスカッションに向けての下準備予習	120
【テキスト】 中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－（平成20年9月） 文部科学省 教育図書				
【参考書・参考資料等】 ・ 自作資料提供 ・ 中学校「技術・家庭科」教科書				
【成績評価基準・方法】 試験（60%），レポート・受講態度（40%）等により総合的に判断し評価する				

教科番号	6 5 2 1	授業科目：技術科教育法Ⅲ		
開講時期	前期	(全) 学科 (4) 年 (2) 単位 担当者：中 菌 政彦		
【授業の到達目標】 中学校「技術・家庭科」において技術分野の指導に必要な基礎的・基本的な知識や技能について理解し、将来の中学校教員としての資質・能力を身に付ける。				
【授業の概要】 教育実習を前提に「技術・家庭科」の指導と評価の一体化について解説し、フローチャートを用いた指導案の作成、その後模擬授業と授業評価の演習をとおして、授業設計の基礎を身に付けさせる。				
【授業要旨】				
回	題目	授業内容	学習課題（予習復習）	時間
1	教育実習の心構え	先輩たちの経験を基に教育実習の実情を知らせ心の準備をさせる。	心の準備をまとめる。	60
2	学習意欲と知的好奇心の喚起	知的好奇心と「分かる・できる」ということとの関係	学習意欲と知的好奇心の関係をまとめる。	60
3	学習理論の進化	プロジェクト法，問題解決学習，問題解決的学習の長所・短所と技術科教育	問題解決学習と問題解決的学習の違いをまとめる。	60
4	指導と評価の一体化 1	診断的評価，形成的評価とKR情報の与え方	診断的評価，形成的評価の必要関係と必要性についてまとめる。	60
5	指導と評価の一体化 2	テスト問題の工夫と総括的評価の工夫	テスト問題を作る。 予習・復習	120
6	技術・家庭科の授業設計	ワークシート，板書計画，口述書の準備	ワークシート，板書計画，口述書を作る。	120
7	学習形態と授業分析	学習目標達成のための学習形態の工夫と授業分析	学習目標と授業分析の関係をまとめる。	60
8	技術科教育における教材・教具の必要性	技術科教育における教材・教具の必要性和効果	教具の構想と設計図の作成	120
9	フローチャートを用いた学習指導案	フローチャートを用いた学習指導案の実際例	フローチャートの図記号をまとめる。	60
10	学習指導案の作成 1	(演習・レポート)	学習指導案の準備	180
11	学習指導案の作成 2	(演習・レポート)	学習指導案の準備	180
12	模擬授業 1	演習・レポートをもとに模擬授業 1 の実践	学習指導案の準備	180
14	模擬授業と授業評価	授業評価の視点と授業評価の考え方	授業評価を基に改善策のまとめ	60
15	まとめ	学習のまとめと総括 技術科の模擬授業を通して学んだこととその対策についてディスカッション	ディスカッションに向けての下準備予習	120
【テキスト】 中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－（平成20年9月） 文部科学省 教育図書				
【参考書・参考資料等】 ・ 自作資料提供 ・ 中学校「技術・家庭科」教科書				
【成績評価基準・方法】 試験（60％），レポート・受講態度（40％）等により総合的に判断し評価する				

教科番号	6 5 5 2	授業科目：技術科教育法Ⅳ		
開講時期	後期	(全) 学科 (4) 年 (2) 単位 担当者：中 菌 政 彦		
【授業の到達目標】 中学校「技術・家庭科」において技術分野の指導に必要な基礎的・基本的な知識や技能について理解し、将来の中学校教員としての資質・能力を身に付ける。				
【授業の概要】 中学校「技術・家庭科」の現状と課題を理解させた上で、施設・設備の充実の方法や教室環境づくり、学習訓練など教科経営について具体例を引きながら解説する。教育実習での授業経験を基に科学的根拠に基づいた教材研究を行わせ、指導方法改善に努めさせる。 技術科教育の中の道徳の指導や職業準備教育としての技術科教育、これからの技術科教育について研究討議をしながら考えさせていく。				
【授業要旨】				
回	題目	授業内容	学習課題（予習復習）	時間
1	中学校技術教育の現状	中学校技術教育の現状	中学校技術教育の現状をまとめる。	60
2	中学校技術教育の課題	中学校技術教育の課題	中学校技術教育の課題に対する対応をまとめる。	60
3	技術科の施設・設備	施設設備の充実と整理整頓，教室環境の整備	技術科の施設・設備についてまとめる。	60
4	技術科の安全教育	技術科の授業中の安全確保の条件整備と指導	授業中の安全確保についてまとめる。	60
5	授業設計 1	授業設計 1 と教材研究（演習）	教材研究	120
6	授業設計 2	授業設計 2 と教材研究（演習）	教材研究	120
7	授業設計 3	授業設計 3 と教材研究（演習）	教材研究	120
8	授業設計 4	授業設計 4 と教材研究（演習）	教材研究	120
9	授業設計 5	授業設計 5 と教材研究（演習）	教材研究	120
10	単元指導計画の作成	(演習・レポート)	レポート作成	180
11	技術科教育と学習訓練	実習中の行動，授業中の行動，工具の使用，後始末，あいさつ等	学習訓練をまとめる。	60
12	技術科教育の中での道徳の指導	道徳の内容を教科の中でも指導することが学習指導要領で示されている。具体例を提示して研究討議させる	研究討議の準備	120
13	職業準備教育としての技術科教育	職業準備教育としての技術科教育の必要性について研究討議	研究討議の準備	120
14	これからの技術科教育	これからの技術科教育について研究討議	研究討議の準備	120
15	まとめ	学習のまとめと総括 これからの技術科教育についてディスカッションして深化を図る。	ディスカッションに向けての下準備予習	120
【テキスト】 中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－（平成20年9月） 科学省 教育図書 文部				
【参考書・参考資料等】・ 自作資料提供 ・ 中学校「技術・家庭科」教科書				
【成績評価基準・方法】 レポート（60％），発表・受講態度（40％）等により総合的に判断し評価する。				

教科番号	6522	授業科目：工業科教育法Ⅰ（Teaching Theory of Technical EngineeringⅠ）		
開講時期	前期	（全）学科（3，4）年（2）単位 担当者：徳永 博仁		
【授業の到達目標】				
・工業教員を目指す学生にとって必要な教科「工業」の基礎的基本的な知識と技術を習得する。 ・工業教育の目標と役割を理解し,学習指導や技術指導など実践的指導力を身につける。 ・工業科の教育課程や年間指導計画,学習指導案等について理解を深める。				
【授業の概要】				
学習指導要領の教科「工業」の内容や学校をとりまく環境の変化や教育改革等について解説するととともに 本学 OB 教師の体験談や学校現場の優れた実践事例などの情報を多く取り入れ理解の深化を図る。また工業教育 への実践的指導力を涵養するため,模擬授業やアクティブ・ラーニングを実施する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	工業科教育法Ⅰの内容と 工業高校の現状	教師のあるべき姿について考察する 授業の内容を復習する	30 60
2	工業教育の目的と役割	技術立国日本を支えてきた工業 高校卒技術者の姿や「ものづくり は人づくり」の意味について解説	課題「教師を目指して」のまとめ 授業の内容を復習する	30 60
3	工業教育の変遷（そ の1）	戦前の工業教育について 明治～大正～昭和初期	明治～大正時代の日本の姿について 授業の内容を復習する	30 60
4	工業教育の変遷（そ の2）	戦後の工業教育と教育改革 新 制高校発足から現在に至るまで の変遷	戦後の日本の経済復興について 提出課題「日本の発展と工業高卒技術者の 活躍について」についてまとめる	30 60
5	教育関係法規と学習指 導要領	憲法・教育基本法・学校教育法・ 学校教育法施行規則など学習指 導要領に関連する法規解説	提出課題のまとめ 授業の内容を復習する	30 60
6	学習指導要領と教科 「工業」の規定	教科「工業」に関する諸規定につ いて解説	学習指導要領[工業]編の資料を一読 諸規定について再度確認する	60 60
7	工業科の教育課程と学 習指導	教育課程編成と学習指導上の留 意点についての説明と前時の小 テスト実施	小テストへの備え KR 情報など学習指導の要点を復習する	60 60
8	学習指導案作成（そ の1）	学習指導案の形式と作成上の留 意点・・作成演習	学習指導案の意義について調べる 課題「学習指導案の作成」について	60 100
9	学習指導案作成（そ の2）	学習指導案作成演習と 課題テスト	課題のまとめ 模擬授業に備えて説明の仕方の考察	60 60
10	模擬授業(その①)	模擬授業と授業研究 学生間の授業評価と討議	模擬授業課題の説明の仕方について 自分の模擬授業とその評価を省みる	60 60
11	模擬授業(その②)	模擬授業と授業研究 学生間の授業評価と討議	模擬授業の説明の仕方について 自分の模擬授業とその評価を省みる	60 60
12	「工業科教育法」の実 践～先輩講話	第一工大 OB 教師による 工業教育の実践講話	工業科教師のあるべき姿について考察 課題[先輩教師の講話感想]のまとめ	30 100
13	「実習」「製図」 「課題研究」の指導	「ものづくり教育」の中心となる 実技的科目の指導上の留意点	提出課題のまとめ 授業の内容を復習する	30 60
14	工業教育の現状と課題	工業高校の現状と学校活性化に 向けた様々な取組	学校活性化方策について調べる 授業の内容を復習する	30 60
15	全体まとめ	授業全体を振り返り要点を再確 認する	配布資料の整理 期末テストに備え授業の内容を復習	60 100
【テキスト】 テキストは特に定めない。 毎時間, 授業の骨子・内容に関するプリントを用意する。				
【参考書・参考資料等】 高等学校学習指導要領 高等学校学習指導要領解説 教科「工業」編				
【成績評価基準・方法】 資料の整理&課題提出状況(30%)、試験(30%)、授業への参加状況(40%)				

教科番号	6523	授業科目：工業科教育法Ⅱ（Teaching Theory of Technical Engineering Ⅱ）		
開講時期	後期	（全）学科 （3，4） 年 （2）単位 担当者： 徳永 博仁		
【授業の到達目標】				
・法令や学習指導要領を踏まえ、工業科の教育課程と学習指導について理解を深める。 ・「工業科教育法Ⅰ」の学習内容に加え、工業高校の各種の教育活動について理解する。 ・工業高校における「ものづくり教育」の実践に必要な知識・技術を習得する。				
【授業の概要】				
「工業科教育法Ⅰ」学習との関連を図りながら、工業教育に関する必要な基礎的・基本的事項や教育活動について解説する。 更に学生が専攻する学科の科目について指導案の作成演習・模擬授業やアクティブ・ラーニングによる授業研究とともに第一工大OB教師による講話等により実践的指導力の向上を図る。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	序論	工業科教育法Ⅰの総括と 教員採用試験の現況等	工業科教育法Ⅰの資料を復習する 配布資料の学習内容を復習する	30 60
2	学校運営（その1）	工業高校と教育行政機関について解説する	事前配布資料読む 配布資料の学習内容を復習する	30 60
3	学校運営（その2）	校務分掌と職員会議について解説する	校務分掌・職員会議について調べる 学習内容を復習する	60 60
4	学校運営（その3）	工業高校のPTA・学級経営についてその役割を説明する	学級担任の任務について調べる 学習内容を復習する	60 60
5	教師の研修体系	初任者研修・経験者研修・自主研修等について	初任者研修の目的について調べる 学習内容を復習する	30 60
6	工業高校の教育改革（その1）	ドイツのマイスター制度とデュアルシステムを取り入れた工業教育について	マイスター制度とは何か予習して臨む デュアルシステムの内容について復習する	60 60
7	工業高校の教育改革（その2）	工業高校の教育活動（ものづくり競技・資格取得等）近年の工業高校の活動を紹介する	ジュニアマイスター顕彰について調べる 学習内容を復習する	30 60
8	工業高校におけるキャリア教育	インターンシップなどキャリア教育について解説する	キャリア・キャリア形成とは何か調べる 学習内容を復習する	30 60
9	学習指導（その1）	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導案の作成する	工業科教育法Ⅰの資料を復習する 提出課題の指導案を作成する	30 60
10	学習指導（その2）	課題の指導案を基にした模擬授業とその内容を全体で討議する	授業の導入・展開の要点を復習する 学習内容を復習する	30 60
11	学習指導（その3）	課題の指導案を基にした模擬授業とその内容を全体で討議する	生徒の評価について調べる 学習内容を復習する	30 60
12	工業教育の実践（先輩教師の講話）	第一工大OB教師の講話により優れた教育実践を学ぶ	教師のあるべき姿について考える 提出課題（講話の感想）をまとめる	30 100
13	望ましい教師像	これからの工業教育と教師のあるべき姿について討議	工業教育に関する配布資料を読む 討議内容を整理する	30 60
14	工業高校における環境教育	教科「工業」の目標に従い環境問題について説明する	地球温暖化について調べる 課題「環境問題と工業教育の役割」のまとめ	30 100
15	まとめ	工業教育の基本的事項について総括する	これまでの配布資料の整理をする 工業教育全般について復習する	30 60
【テキスト】 テキストは特に定めない。 毎時間、授業の骨子・内容に関するプリントを用意する。				
【参考書・参考資料等】 高等学校学習指導要領 高等学校学習指導要領解説 教科「工業」編				
【成績評価基準・方法】 資料の整理と課題提出状況(30%)、試験(30%)、授業への参加状況(40%)				

教科番号	6541	授業科目：情報科教育法Ⅰ (Instruction Method of Information Education Ⅰ)		
開講時期	前期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 内村 俊二、當金 一郎		
【授業の到達目標及びテーマ】				
1. 教科「情報」の設置の経緯と趣旨を理解する。 2. 教科「情報」の指導方法を理解する。 3. 教科「情報」の生徒の活動を体現し、指導に生かす。				
【授業の概要】				
高等学校の情報教育の目的を踏まえて、情報ネットワーク社会に適応できるよう教育指導する方法を講述する。普通教科「情報」の概要を説明し、情報活用のための実践と学習指導、情報の科学的理解と情報処理について述べる。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	情報教育	情報教育の経緯、教科「情報」の特質、教育政策	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	諸外国の情報教育	英国の情報教育教師、オーストラリアの情報教育	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	情報教育の教授モデル	学習活動モデル、情報教育指導の姿勢、学習指導計画	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
4	普通教科「情報」	情報活用の実践力、情報の科学的理解、社会への参画態度	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
5	情報A、情報B	情報A,Bの目標、情報A,Bの内容、情報A,Bの授業設計	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	情報C、ネット規制	情報Cの目標、内容、授業設計、ネット規制に関する討論	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
7	情報活用のための実践力	メディアの活用、学習形態と学習方法についての話し合い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
8	情報収集の学習指導	情報の収集・処理、問題解決と情報、情報の整理と管理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
9	情報発信の学習指導	情報の発信・伝達の学習指導、情報の収集・発信の評価	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	情報の科学的理解	情報の科学的理解、情報科学の発展、コンピュータの仕組み	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	情報の処理	ソフトウェア、アルゴリズム、情報処理の基礎技術	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークの発展、デジタル情報	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	マルチメディア	画像処理、マルチメディア表現、情報処理と表現の評価	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
14	表現演習	発表スライドの作成	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	まとめ・模擬授業	講義のまとめ、模擬授業	模擬授業の準備をする。 ノートの整理をする。	60 120
【テキスト】 情報科教育法 岡本敏雄、西野和典、香山瑞恵 編著 丸善				
【参考書・参考資料等】 高等学校学習指導要領解説 総則編 文部科学省 創栄図書印刷				
【成績評価基準・方法】 到達度試験 (80%)、 模擬授業 (20%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	6542	授業科目：情報科教育法Ⅱ (Instruction Method of Information Education Ⅱ)		
開講時期	後期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者：内村 俊二、當金 一郎		
【授業の到達目標】				
1. 情報社会 への健全な参画の指導法を理解する。				
2. 教科「情報」の授業計画と学習指導案を理解する。				
3. 模擬授業を通して実践的な指導力を身につける。				
【授業の概要】				
高等学校の情報教育の目的を踏まえて、情報ネットワーク社会に適応できるよう教育指導する方法を講述する。情報社会への参画、教科「情報」と「総合的な学習の時間」との相違、授業計画、人的・物的要件について述べる。				
【授業計画】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	情報社会の仕組み	情報検索、情報の送受信、情報の信頼性、匿名性	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	社会への健全な参画	情報倫理、利権侵害と自己責任	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	協調的コミュニケーションの展開法	コミュニケーションの形態、コミュニケーションのツール、協調的グループ学習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
4	メディアリテラシーと情報の評価	メディアリテラシー教育、IT 機器の活用、情報の評価	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
5	総合的な学習の時間	経緯、趣旨とねらい、内容	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	教科「情報」との相違	教育課程、教育目標と内容、指導方法、評価の比較	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
7	教科「情報」からの観点	実践力、科学的理解、社会参画の態度	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
8	情報活用と自己表現	情報活用能力、情報創造力、自己表現力についての話し合い	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
9	授業計画と学習指導の案	授業設計、授業計画の立案、学習指導の立案	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	学習活動の指導方法	情報活用能力、情報創造力、自己表現力の育成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	教科「情報」の社会的要因	制度、施策・政策、研究開発・授業実践の動向	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	学習基盤の整備	ハード・ソフト、LAN の導入、セキュリティ対策	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	情報教育の人的資源	企業・大学・地域、地域との連携、家庭と学校	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
14	授業計画	本時の授業計画の作成	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	まとめ・模擬授業	講義のまとめ、模擬授業	模擬授業の準備をする。 ノートの整理をする。	60 120
【テキスト】 情報科教育法 岡本敏雄、西野和典、香山瑞恵 編著 丸善				
【参考書・参考資料等】 高等学校学習指導要領解説 総則編 文部科学省 創栄図書印刷				
【成績評価基準・方法】 到達度試験 (80%) 、 模擬授業 (20%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	6524	授業科目： 道徳教育（Moral Education）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（3）年（2）単位	担当者： 白 川 智	
【授業の到達目標】				
学校教育における道徳教育に関してその目標を理解し、「特別の教科 道徳」の指導計画と展開についての認識を深めて学習指導の基礎を培うとともに、教師としての資質向上の基礎のはぐくみにもつなげ、その後の教育実習に生かせるようにする。				
【授業の概要】				
「中学校学習指導要領」を中心資料とし、道徳教育の目標や「特別の教科 道徳」のねらいと生徒の発達段階に応じた道徳性を身に付けさせる内容や指導方法等について、具体的・実践的な内容も盛り込みながら、その理解深化と確実な定着を図るとともに、主体的な学びが進められるよう下記のような授業（予習・復習を含めた）の工夫を行う。				
① 各時に学習課題を設定するとともに、前時に資料を配付し、予習を推進することで学習内容への課題意識を高め、授業での発表や話し合い、調べ等の能動的な学習を組織する。				
② 自学による復習問題への取組や前時の復習タイムを授業に位置づけ、学習の振り返りを多様化・多重化することで学びの定着とその深化を図ようにする。具体的には、復習問題は前時までの学習の振り返りとして毎回取り組ませ、授業の前半で確認後回収し、点検指導を行って次時で返却する。学生は各自でその確認を行うこととする。また、復習タイムは、授業時間の10分間程度を使って、前時学習の要点確認を行うとともに学習の系統性や課題意識の継続性をもたせて本時への導入とする。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	道徳と道徳教育	道徳と道徳教育の意義・必要性	・資料1のまとめ ・復習問題①への対応	60 30
2	道徳教育の流れ	明治からの道徳教育	・資料2のまとめ ・復習問題①・②への対応	60 30
3	道徳教育の目標	道徳教育の目標と道徳性	・資料3のまとめ ・復習問題②・③への対応	60 30
4	道徳性の発達	道徳性の発達理論と中学生の道徳性の発達段階	・資料4のまとめ ・復習問題③・④への対応	60 30
5	道徳教育の内容	道徳教育の内容・構成と内容の取扱い方	・資料5のまとめ ・復習問題④・⑤への対応	60 30
6	道徳教育の推進	道徳教育の推進方法と配慮事項	・資料6のまとめ ・復習問題⑤・⑥への対応	60 30
7	道徳教育の指導計画	指導計画の種類とその内容	・資料7のまとめ ・復習問題⑥・⑦への対応	60 30
8	道徳科の指導①	道徳科の目標と指導の基本方針	・資料8のまとめ ・復習問題⑦・⑧への対応	120 60
9	道徳科の指導②	学習指導案の内容と作成方法	・資料9のまとめ ・復習問題⑧・⑨への対応	60 30
10	道徳科の指導③	学習指導の創意工夫	・資料10のまとめ ・復習問題⑨・⑩への対応	60 30
11	道徳科の指導④	学習指導案作成	・資料11のまとめ(学習指導案作成) ・復習問題⑩・⑪への対応	60 30
12	教育活動全体を通じて行う道徳教育	各教科等の特質に応じた指導と道徳教育	・資料12のまとめ ・復習問題⑪・⑫への対応	60 30
13	道徳教育における家庭や地域社会との連携	道徳教育における家庭や地域社会との連携とそれぞれの役割	・資料13のまとめ ・復習問題⑫・⑬への対応	60 30
14	道徳教育の評価	道徳教育の評価の意義と方法	・資料14のまとめ ・復習問題⑬・⑭への対応	60 30
15	道徳科の指導⑤	道徳科の授業（学習指導案に基づく）	・授業の準備 ・全体の整理	120 120

【テキスト】	中学校学習指導要領解説 一道德編一（平成 29 年 6 月 発行予定）
【参考書・参考資料等】	中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月 公布） 道徳教育に関する新聞記事等
【成績評価基準・方法】	出席及び授業参加の状況、資料整理等（20％）、復習問題対応及び指導案作成（20％） 定期試験（60％）を総合的に評価する。

教科番号	6525	授業科目： 特別活動論 (Special Curricular Activities)		
開講時期	後期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 原之園 政治		
【授業の到達目標】 学校教育における特別活動について、その目標・教育的意義など学習指導要領等を通して理解するとともに、生徒理解や指導方法等について習得してその後の教育実習等に生かせるようにする。				
【授業の概要】 学校における特別活動の目標・教育的意義、特別活動の内容と指導方法等を講義で学ぶとともに、学教活動を通してディスカッションやグループ活動等も積極的に取り入れて実施する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	特別活動とは	特別活動の目標と内容	テキスト(P7~12)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
2	特別活動の意義	特別活動の意義、歴史的変遷	テキスト(P12~17)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
3	特別活動と他の教育活動の関連	特別活動と各教科、道徳、総合、生徒指導との関連	テキスト(P17~24)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
4	特別活動の指導内容	望ましい人間関係づくり	テキスト(P25~44)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
5	学級活動の学習指導案づくり	例「情報社会におけるモラル」を題材にして作成	「学習指導案」とは何か、調べる。 授業の内容を復習する。	30 30
6	学級活動の学習指導案づくり	各自で、「学級活動学習指導案」を作成	「学習指導案」の構想を練る。 授業の内容を復習する。	60 30
7	学級活動の内容と指導	学級活動の指導計画、指導上の留意点	テキスト(P44~57)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
8	学級活動の実際	各自で学級活動を展開し、ディスカッションを行う	学級活動の構想を練る。 授業の内容を復習する。	30 30
9	学級活動の展開	望ましい話し合い活動、ディスカッションを行う	話し合い活動の構想を練る。 授業の内容を復習する。	30 60
10	生徒会活動の指導	生徒会活動の組織と内容、意義 活動計画と運営	テキスト(P58~73)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
11	クラブ活動の内容と指導	クラブ活動、部活動の意義・内容とその指導	クラブ活動の推移について、調べる。 授業の内容を復習する。	30 30
12	学校行事の内容と指導	学校行事の意義と内容	テキスト(P74~91)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
13	特別活動における評価	特別活動の評価と内容、各領域における評価	テキスト(P105)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
14	特別活動の課題	特別活動の充実と内容	テキスト(P1~6)を読み理解する。 授業の内容を復習する。	30 30
15	課題解決とまとめ	課題を挙げさせディスカッションをしながらまとめる	プリントの整理・まとめをする。 テストに備え、準備をする。	30 120
【テキスト】 「中学校学習指導要領解説 特別編」文部科学省 編 株式会社ぎょうせい				
【参考書・参考資料等】 参考資料等を、授業中に適宜配布する。				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度 (30%)、レポート (10%)、試験 (60%) で総合的な評価を行う。				

授業科目	教育の方法と技術	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：2単位	担当教員名：新地辰朗
開講時期	前期			
科目	目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）		
各科目に含めることが必要な事項		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
【授業の到達目標及びテーマ】 教員の ICT 活用指導力の意義や内容を理解する。また、情報メディアを効果的に活用する授業を構想し、実践できる基礎的な力量を習得する。				
【授業の概要】 本講義では、学校教育における情報メディア活用の歩みを整理しながら、情報メディアの種類や機能、映像の認知、情報メディアを活用する児童生徒の学力等を検討し、情報化が進む学校教育における学びのあり方、さらに教師に求められる力量としての ICT 活用指導力について学ぶ。また、ICT（情報コミュニケーション技術）を活用した実践的指導力を習得するために、実際に教材を作成し、模擬授業を実施する。模擬授業においては、授業構想力、授業実践力、そして授業評価力の3つの観点から、授業力を整理する。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教育における情報メディア利用の歩み	科学技術の進展を捉えながら、教育において情報メディアに期待されてきた機能について解説する。	●テキスト1の第1章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
2	情報メディアの種類と機能	非投影系メディア、音声メディア、映画、放送メディア、コンピュータなど、情報メディアの種類を整理する	●テキスト1の第2章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
3	映像の認知と情報メディア利用の効果	映像のメッセージ性を整理した後に、人が映像等を認知する際の傾向等を検討する。	●テキスト1の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
4	博物館・図書館での情報メディア活用	教育施設としての博物館・図書館における情報メディア活用を整理し、学校教育における効果的利用を考える。	●テキスト1の第4章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
5	情報メディアに関わる学力	国内外の動向を整理しながら、メディアについての教育や教員の ICT 活用指導力「C 児童（生徒）の ICT 活用を指導する能力」について解説する。	●テキスト1の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第4章との関連を整理する。	45 45
6	「教育の情報化」の歩み	情報メディアの中でも、特にコンピュータやインターネットの活用に焦点を当て、学校教育における情報化の意義と歩みを整理する。	●テキスト1の第6章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第1章との関連を整理する。	45 45
7	教科指導における ICT 活用	ICT 活用指導力「A 教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力」と「B 授業中に ICT を活用して指導する能力」について解説する。	●テキスト2の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第2, 7章との関連を整理する	45 45
8	校務の情報化	ICT 活用指導力「E 校務に ICT を活用する能力」を解説しながら、校務の情報化の意義と普及状況を紹介する。	●テキスト2の第6章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
9	情報モラル教育	ICT 活用指導力「D 情報モラルなどを指導する能力」を解説し、情報モラル等を指導する際の留意点について整理する。	●テキスト2の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45 45
10	授業実践演習 1-1	プレゼンテーションソフト（フラッシュ型教材等）による教材開発と授業デザイン	●教科等のねらいを達成するために有効なフラッシュ型教材を構想する。	90

11	授業実践演習 1-2	プレゼンテーションソフト（フラッシュ型教材等）を活用した模擬授業と相互評価	<ul style="list-style-type: none"> ●フラッシュ型教材を活用する際の生徒への働きかけ方を整理する。 ●相互評価の結果を整理する。 	4 5 4 5
12	授業実践演習 1-3	プレゼンテーションソフト（フラッシュ型教材等）を活用した授業の改善	●相互評価の結果を受け、フラッシュ型教材及び授業展開の改善方策をまとめる。	4 5 4 5
13	授業実践演習 2-1	映像コンテンツ活用を含む授業デザイン	●インターネット上に公開されている映像コンテンツを選択し、内容や構成の特徴を整理する。	9 0
14	授業実践演習 2-2	映像コンテンツを活用した模擬授業と評価	●模擬授業を振り返り、映像コンテンツの活用法及び授業展開について改善方策をまとめる。	4 5 4 5
15	まとめ	教育の情報化に関わる現状と課題を整理し、情報メディア活用に必要な教師の力量について整理する	●ICT活用指導力など、メディアを教育的に活用する力量を自己評価し、改善策をまとめる。	9 0
【テキスト】 ・テキスト1 改訂・視聴覚メディアと教育 佐賀啓男 樹村房 ・テキスト2 教育の情報化に関する手引き 文部科学省 開隆堂出版				
【参考書・参考資料等】 新・教育の方法と技術、平田啓一・町田隆哉編、教育出版				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（40%）、レポート（30%）、試験（30%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6 5 2 7	授業科目：生徒指導論（ Theory of Methods of Student Guidance ）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（ 3 ）年（ 2 ）単位 担当者：切手 純孝		
【授業の到達目標】				
生徒指導及び進路指導の概念の理解に基づいた、実践的な指導ができることを目標とする。				
【授業の概要】				
教師は生徒指導及び進路指導の概念と機能を十分に理解し、また一人一人の生徒をよく理解して、適切な指導・援助を行うことが大切である。				
本授業では、生徒指導及び進路指導の概念の理解に基づいた、実践的な生徒指導及び進路指導について、具体的な事例を通して分かりやすく解説する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	生徒指導の目的・意義	生徒指導の概念と目的、生徒指導の領域・内容、生徒指導の歴史を学ぶ。	資料の P 1 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
2	生徒指導と教育課程との関連 1	生徒指導と教科・道徳との関連を学ぶ。	資料の P 2～3 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
3	生徒指導と教育課程との関連 2	生徒指導と特別活動・総合的な学習との関連を学ぶ。	資料の P 4～5 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
4	生徒指導の組織と計画	生徒指導の組織体制、生徒指導計画等について学習する。	資料の P 6～7 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
5	生徒理解	生徒理解の意味と機能、生徒理解の領域・内容等について学ぶ。	資料の P 8～10 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
6	学校心理学の立場からの生徒指導	指導サービスと援助サービスの方法とあり方等について学ぶ。	テキスト(P17～19) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
7	生徒指導の方法、学級づくり	学級担任の役割、学級づくり、学級崩壊等について、グループ討議及びグループ学習を行う。	望ましい学級についてレポートを作成する。 授業の内容を復習する。	1 2 0 6 0
8	生徒指導の方法、集団指導 1	集団指導の意味と意義、集団指導の形態、集団活動の指導の在り方。	テキスト(P27～29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
9	生徒指導の方法、集団指導 2	生徒とのコミュニケーション進め方と留意点について学ぶ。	テキスト(P30～31) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
10	生徒指導の方法、個別指導 1	教育相談の意義と目的、基本的態度、教育相談の進め方等を学ぶ。	テキスト(P36～39) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
11	生徒指導の方法、個別指導 2	家庭との連携、関係諸機関との連携等について学ぶ。	テキスト(P40～41)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	6 0 6 0
12	問題行動の理解と指導 1	問題行動の種類とその原因、問題行動の早期発見と予防等について学ぶ。	テキスト(P117～122) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
13	問題行動の理解と指導 2	いじめ問題の事例をもとに、その対応等についてグループ討議を行い、発表する。	いじめ問題の事例を読み、その対応等についてレポートを作成する。 授業の内容を復習する。	1 2 0 6 0
14	思春期・青年期の進路の課題	進路指導の目的と意義、進路指導の内容、進路指導の課題	テキスト(P43～48) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
15	まとめ・評価	学修の総括、理解度の評価	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	6 0 1 2 0
【テキスト】 生徒理解・指導と教育相談 牟田悦子 編 (学文社)				
【参考書・参考資料等】 立ちどまってもいいんだよ 切手純孝 著 (高城書房)				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、中間テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6528	授業科目：教育相談（Educational counseling）		
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位 担当者：切手 純孝		
【授業の到達目標】 教育相談の基本とその進め方について学び、カウンセリングの基本的な技法を活用した援助・支援ができることを目標とする。				
【授業の概要】 生徒の心身の発達の理解と生徒の悩みやストレスについての認識を深めた上で、生徒一人一人への助言・援助のあり方、並びに教育相談の基本とその進め方について学習する。また、カウンセリングの基本的な技法についても具体的な実践例を基に解説する。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	生徒の心身の発達の理解	中・高校生の心身の発達についての理解	テキスト(P63～64)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	教育心理学と教育相談	教育心理学の歴史と内容、教育相談への活用	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	発達心理学と教育相談	発達心理学の歴史と内容、教育相談への活用	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	生徒理解の方法と実際	生徒理解の基礎、主観的・客観的・共感的理解	テキスト(P20～24)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	カウンセリングの基本	単純な受容、内容の繰り返し、質問のしかた	テキスト(P71～72)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	カウンセリング・マインド	教師の望ましい姿勢（自己一致、共感的理解、無条件の肯定的配慮）	テキスト(P73～74)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	生徒の行動と問題	生徒同士の関係、教師と生徒の関係についてのグループ討議	プリントを読みまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
8	教育相談のすすめ方 ①	面接のもち方・すすめ方、相談記録	テキスト(P87～88)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	教育相談のすすめ方 ②	カウンセリングの実際	テキスト(P89～90)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	相談事例	相談事例検討会のあり方と実際	テキスト(P91～92)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	学校と家庭	教師と保護者との連携のあり方	テキスト(P93～94)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	60 60
12	教師の自己理解	エゴグラムを活用した自己理解	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	ネットワークづくり	教師間の連携、専門機関との連携	テキスト(P98～99)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	事例研究	不登校への理解と対応について、資料を基にグループで話し合い、その結果を発表する。	不登校の資料を読んで感想をまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
15	まとめ	学修のまとめと総括	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】 生徒理解・指導と教育相談 牟田悦子 編 (学文社)				
【参考書・参考資料等】 立ちどまってもいいんだよ 切手純孝 著 (高城書房)				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、中間テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6544	授業科目： 事前・事後指導（ Prior Afterward Guidance ）		
開講時期	前期	（全）学科（４）年（１）単位 担当者： 徳永 博仁		
【授業の到達目標】 教育実習の内容や方法等について学習し、教育実習を意義ある充実したものにすることができることを目標にする。				
【授業の概要】 教育実習の内容や方法等について解説し、教育実習を意義ある充実したものにするために、教育実習の準備から終了までの過程を想定して授業を構成し、解説・学習していく。 特に、教育実習の中心課題である授業の展開については演習を通して知識と技術の習得に努め、また教育実習中に遭遇する課題ついて解説する。さらに、教育実習後には具体的な体験をもとにまとめをしていく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教育実習の目的と意義	教師養成と教育実習、教育実習の目標、教育実習の内容	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	教育実習の事前研究	教育実習の事前研究、教育実習の形態、教育実習の評価項目	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	教育実習の心得	教育実習生の基本的な姿勢、教育実習の心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	教育実習の内容1	学校経営、学校の組織、生徒理解、教育課程	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	教育実習の内容2	生活指導、学級経営、学校保健、学校の施設と環境	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	授業設計、授業研究	教材研究の実際、学習指導の実際、授業研究の実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	教育実習直前の準備	教育実習日誌の意義、教育実習日誌の記入の留意点	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	学習指導案とその書き方	学習指導案の形式とその書き方(技術、数学、工業)	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
9	学習指導案の作成と指導の実際 1	学習指導案の作成と模擬指導 1回目	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	学習指導案の作成と指導の実際 2	学習指導案の作成と模擬指導 2回目	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
11	学習指導案の作成と指導の実際 3	学習指導案の作成と模擬指導 3回目	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
12	事後研究 1	報告書の作成、報告会、自己評価	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
13	事後研究 2	教育実習のまとめと自己研鑽課題 1回目	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
14	事後研究 3	教育実習のまとめと自己研鑽課題 2回目	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
15	事後研究 4	教育実習のまとめと自己研鑽課題 3回目	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	60 60
【テキスト】 プリント、資料				
【参考書・参考資料等】 教育実習完全ガイド 山崎英則編著 ミネルヴァ書房				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、レポート（30%）、試験（40%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6545	授業科目： 教育実習Ⅰ (student teachingⅠ)
開講時期	集中	(全) 学科(4)年(2)単位 担当者：徳永 博仁
【授業の到達目標】 教育実習においては、大学で学んだ一般教養、教職教養、専門教科などを学校現場において総合的に活かすとともに、授業実習を通して生徒理解を深める。更に、学校運営や教員の職務実態に触れて望ましい教師像を形成することができるようにする。		
【授業の概要】 教育実習は、授業経験の機会を得るばかりでなく、教育のさまざまな現実の姿、一人一人の生徒の個性、生徒たちの集団の現実、生徒たちの遊びや生活の実態、教師の生き方や教師集団の姿などに具体的に接触する機会であり、それらを通して教育の実践的認識を深める。		
【授業要旨】		
題目と授業内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習期間は10日間(2週間)とする。 ○ 教育理論の実証的研究 大学で学んだ教育の諸理論を教育の現場に応用し、具体的に実践、研究する。 ○ 学校教育の実体験 教師の立場になって、学校教育のあり方を認識し、職場としての学校生活を体験する。そして、学校の実態及び抱えている諸問題を理解し、また人間関係における協調の必要性を実感する。 ○ 生徒との接触 教育は全人的活動であり、それには教師と生徒の信頼関係がもっとも大切である。 ○ 教職意欲を高める 学校教育の実態を理解し、教職生活を体験することにより、教師としての意欲的態度を確立する。 		
【テキスト】 教育実習の手引き、 資料プリント		
【参考書・参考資料等】 な し		
【成績評価基準・方法】 教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価等を総合的に評価する。		

教科番号	6546	授業科目： 教育実習Ⅱ （student teaching Ⅱ）
開講時期	集中	（ 全 ）学科（4）年（2）単位 担当者： 徳永 博仁
【授業の到達目標】 教育実習においては、大学で学んだ一般教養、教職教養、専門教科などを学校現場において総合的に活かすとともに、授業実習を通して生徒理解を深める。更に、学校運営や教員の職務実態に触れて望ましい教師像を形成することができるようにする。		
【授業の概要】 教育実習は、授業経験の機会を得るばかりでなく、教育のさまざまな現実の姿、一人一人の生徒の個性、生徒たちの集団の現実、生徒たちの遊びや生活の実態、教師の生き方や教師集団の姿などに具体的に接触する機会であり、それらを通して教育の実践的認識を深める。		
【授業要旨】		
題目と授業内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校教員免許状取得希望者は「教育実習Ⅰ」の10日間（2週間）に引き続き、更に5日間（1週間）の教育実習を行うこととする。 ○ 教育理論の実証的研究 大学で学んだ教育の諸理論を教育の現場に応用し、具体的に実践、研究する。 ○ 学校教育の実体験 教師の立場になって、学校教育のあり方を認識し、職場としての学校生活を体験する。そして、学校の実態及び抱えている諸問題を理解し、また人間関係における協調の必要性を実感する。 ○ 生徒との接触 教育は全人的活動であり、それには教師と生徒の信頼関係がもっとも大切である。 ○ 教職意欲を高める 学校教育の実態を理解し、教職生活を体験することにより、教師としての意欲的態度を確立する。 		
【テキスト】 教育実習の手引き、 資料プリント		
【参考書・参考資料等】 な し		
【成績評価基準・方法】 教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価等を総合的に評価する。		

教科番号	6547	授業科目名： 教職実践演習（中・高）	担当教員名： 教職担当教員：岩橋 法雄			
開講期間	後期	単位数：2単位	教科担当教員：中菌 政彦			
科 目	教職に関する科目（教職実践演習）					
履修時期	4年次後期	履修履歴の把握	○	学校現場の意見聴取	○	
受講者数	30人					
<p>【教員の連携・協力体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程委員会を軸に教職専任教員と教科担当教員が連携・協力して学生の指導にあたる。 ・授業計画の項目、第10回目から第13回目の講義では、教職専任教員・教科担当教員・実習協力校の教員がチームティーチングを編成し学生の指導にあたる。 ・「履修カルテ」を基に、学生個人の修学状況を把握し、さらには個性や動向についての知見を教職実践演習に携わる全教員が共有して学生の指導にあたる。 						
<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>変化の激しい時代の学校教育においては、生徒の興味関心等に基づき、生徒自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成することが求められている。</p> <p>このために、教職を目指す者に最新の教育に関する動向等を踏まえつつ、教職の意義や教員の役割を再確認させ、教員の具体的職務内容や学校現場の実態等について理解を深めさせ、教科指導や生徒指導等に関する実践的指導力の定着を図るとともに、教員としての資質能力の向上を図る総合的な実践を行う。</p>						
<p>【授業の概要】</p> <p>実践的な体験を重視する観点から本講座は、教職経験のある複数の教職専任及び教科専任の教員が担当し、授業内容をいかに実際の指導に活かすかという視点に立った、具体的な課題に沿って演習形式で進めていく。</p>						
授業計画						
回数	授 業 内 容					予習、復習
1	イントロダクション（ガイダンス）、大学における本講座「教職実践演習」の位置づけを確認する。					60分 60分
2	教育実習での経験から得た教職の意義、教員の役割、職務内容等はいかを視点（使命感・責任感・教育的愛情等）に沿ってグループ討論し、教師に求められる具体的資質能力について発表する。					90分 60分
3	学校の一員として、上司・同僚教師・職員との関係構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、新任教師として対応の具体について疑似体験）					60分 90分
4	教員として、保護者や地域関係者との人間関係の構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、学級PTAの企画・運営やモンスターペアレント等への対応の具体について疑似体験）					90分 60分
5	生徒の集会や保護者会における教師のスピーチの在り方をロールプレイングしながら習得する。（特に、全校朝会や学級PTAにおけるスピーチをテーマにそって疑似体験）					60分 90分
6	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、反社会的行動の生徒や校則違反生徒等への対応の具体について疑似体験）					60分 90分
7	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、不登校生徒への対応の具体について疑似体験）					90分 60分
8	学級経営の意義を理解し、実際に中学校・高等学校の学級経営案を作成し、グループ討論を行う。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）					60分 90分
9	現在の中学校・高等学校の様子を実際に見学し、学校現場の責任者より学校教育の課題等について講話を聞く。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）					60分 90分
10	中学校の「技術・家庭科」「数学」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。					90分 60分
11	同上					90分 60分
12	高等学校の「数学」、「情報」、「工業」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。					90分 60分
13	同上					90分 60分
14	教科の指導力とは何かをグループで討論し、今の自分に備わっている資質能力や不足している資質能力についてまとめる。					90分 60分
15	今求められている教師の資質能力とは何かを本講座の全体を振り返りながらまとめる。					90分 60分
【テキスト】：配布資料						
【参考書・参考資料等】：特になし						
【成績評価基準・方法】：授業への参加状況。学習状況（意欲、協調性）等から教員として必要な資質能力の修得を総合的に評価する。複数の教員により、学校現場の視点も加味して多面的な評価を行う。						

教科又は教職に関する科目

教科番号	6 7 1 1	授業科目： 介護福祉概説（ Care Welfare Outline ）		
開講時期	後 期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位 担当者： 切手 純孝		
【授業の到達目標】				
介護の概念や目的、方法を概説し、障害に対する理解と高齢者の動きに対する理解を深め、障害者や高齢者に対する介護や接し方ができるようになることを目標とする。そして、介護等体験に生かせるようにする。				
【授業の概要】				
1. 障害に対する理解と高齢者の動きに対する理解を深め、それらに対する介護や接し方を学び、実践できるように体験的な学習も学ぶ。				
2. 医療保険・介護保険制度について理解を深め、それらの活用方法を学ぶ。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	介護等体験とは	オリエンテーション	テキスト(P2~4)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
2	介護等体験の目的と意義	介護等体験特例法と学校教育	テキスト(P18~19)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
3	介護等体験への心構え	教師志望者に介護等体験が必要な理由	テキスト(P26~27)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
4	介護等体験の具体例	介護等体験の日誌の書き方、事例から学ぶ	テキスト(P28~29)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
5	介護等体験の方法 1	具体的な準備、計画、留意点	テキスト(P30~31)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
6	介護等体験の方法 2	介護等体験の具体的な手順と方法	テキスト(P32~33)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	3 0 6 0
7	特別支援学校 1	小テスト。盲学校・聾学校・養護学校の概要と理解	テキスト(P34~36)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
8	特別支援学校 2	養護学校等における体験学習の留意点の話し合い	テキスト(P37~39)を読みまとめる。 グループでの話し合いをまとめる。	6 0 6 0
9	社会福祉施設 1	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム等の概要と理解	テキスト(P46~47)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
10	社会福祉施設 2	養護老人ホーム等における体験学習の留意点の話し合い	テキスト(P48~51)を読みまとめる。 グループでの内容をまとめる。	6 0 6 0
11	介護等体験 1	車いすの操作、介助の方法についてのロールプレイ	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
12	介護等体験 2	バリアフリーについてグループで話し合い、発表する。	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
13	老人保健法	高齢者医療制度と老人医療	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
14	介護保険法	介護保険制度と介護保険サービス	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
15	まとめ・評価	学修の総括、理解度の評価	授業内容のまとめと小テストの準備。 ノートの整理とまとめをする。	6 0 1 2 0
【テキスト】 教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 現代教師養成研究会編 大修館書店				
【参考書・参考資料等】 社会福祉とは何か 一番ヶ瀬 康子 監修 一橋出版				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6 7 2 1	授業科目：総合演習 I （ Total Exercise Integrated Study I ）		
中学校・高等学校教員の免許状取得のための選択科目				
開講時期	後期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 中菌 政彦		
科 目	教科又は教職に関する科目			
【授業の到達目標】 教員を目指す学生の教育現場での実践的な指導技術の向上を目標とする。				
【授業の概要】 学校現場に取りまく現状と課題について、今日的、具体的な事例を通して学習する。また、学校現場の課題に適切に対応できる実践的な指導力を身に付ける。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	教職総合演習の意義	ガイダンス、大学における総合演習の位置づけ	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
2	求められる教師の資質・能力	今後、特に求められる具体的な教師の資質・能力	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
3	教師と生徒	カウンセリング・マインドと生徒への指導・援助のあり方	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
4	総合的な学習の時間の概説	中学校、高等学校における総合的な学習の実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
5	問題解決学習の意義と方法	問題解決学習の理論と実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
6	自己表現と聴く技術	話し方の基本と聴き方の技法	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
7	演習 1	バズ学習の理論と方法	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
8	演習 2	バズ学習の実際と実践、グループで話し合い、発表する。	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
9	ウェビング法	ウェビング法を生かした福祉学習の課題	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
10	演習 3	福祉学習の実際と実践、グループで話し合い、発表する。	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	3 0 6 0
11	K J 法	K J 法の理論と概略	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
12	演習 4	K J 法の環境学習の実際、グループで話し合い、発表する。	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
13	ディベートの意義と方法	ディベートの理論と方法	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
14	演習 5	ディベートの実際と実践、グループで話し合い、発表する。	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
15	まとめ・評価	学修の総括、理解度の評価	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	6 0 1 2 0
【テキスト】 資料配付				
【参考書・参考資料等】 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、レポート（30%）、試験（40%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	6 7 2 2	授業科目：総合演習Ⅱ（Total Exercise Integrated StudyⅡ）		
中学校・高等学校教員の免許状取得のための選択科目				
開講時期	前期	（全）学科（4）年（2）単位 担当者： 徳永 博仁		
科 目	教科又は教職に関する科目			
【授業の到達目標】 教員を目指す学生の教育現場での実践的な指導技術の向上を目標とする。				
【授業の概要】 学校現場に取りまく現状と課題について、今日的、具体的な事例を通して学習する。また、学校現場の課題に適切に対応できる実践的な指導力を身に付ける。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	総合演習Ⅱの目的	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
2	自己理解と他者理解	エゴグラムを活用した自己理解、他者紹介の手順	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
3	人間理解と人間関係づくり 1	構成的エンカウンターによる「人間関係づくり」	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
4	人間理解と人間関係づくり 2	コミュニケーション能力の向上、保護者との関わり	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
5	グループ構成の工夫	討議のためのグループ構成、ディスカッションに対する心構え	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
6	テーマの選択	興味・関心や問題意識についての討議	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
7	資料収集と調査	資料収集に当たっての工夫と方法、関連文献の調査	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
8	レポートの作成	レポートのアウトラインの作成、情報カードの活用	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
9	発表のための討議	問題点や意見をまとめる	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
10	グループの発表と意見交換 1	発表内容の検討、発表シートの作成	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	3 0 6 0
11	グループの発表と意見交換 2	発表における工夫、予想質問の検討	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	6 0 6 0
12	教職科目の基礎力練成 1	教育法規と教育課程のまとめと整理	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	6 0 6 0
13	教職科目の基礎力練成 2	生徒指導と教育相談のまとめと整理	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
14	教職科目の基礎力練成 3	教育心理と教育史のまとめと整理	テーマについて考えをまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
15	まとめ・評価	学修の総括、理解度の評価	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	6 0 1 2 0
【テキスト】 プリント、資料配付				
【参考書・参考資料等】 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30％）、レポート（30％）、試験（40％）で総合的な評価を行う。				